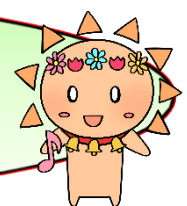


# めざせ太陽の子



e-mail アドレス younan-es@tym.ed.jp

HP アドレス <http://www.younan-e.tym.ed.jp/>

いよいよ、3月4日（土）に行う創校 40 周年記念式典が近づいてきました。学校で執り行う式に、地域の方々にご臨席いただくのは久しぶりのことです。ともに 40 周年を祝っていただけることを大変ありがたく思います。なお式典では、文部科学省の通知に従い、児童及び教職員は個人の判断によりますが、マスクを外すことを基本といたします。ご臨席いただく地域の方は、マスクの着用をお願いいたします。

先日ちらしでもご案内しましたが、式典後 14 時 10 分から創校 40 周年記念教育講演会を行います。内容は、富山県出身の歌手 CHIKO さんによる歌とトークです。CHIKO さんは、テレビやラジオのコメンテーターやパーソナリティとしても活躍しておいでです。

## **事前に参加申し込みをしておられなくても、当日の参加も大丈夫です。**

記念となる教育講演会ですので、たくさんの方にご参加いただけるとありがたいです。ご近所お誘い合わせの上、ぜひご来校ください。お待ちしております。

### 校内縄跳び大会

2月10日（金）

1 分間に個人が縄跳びで跳んだ回数を得点化し、縦割り班全員の合計点数で競います。前跳び等の簡単な技は 1 回 1 点ですが、難しい技になると跳んだ回数の 3 倍、4 倍、5 倍の得点になります。今年は二重跳びの倍率を見直して 4 倍としたので、二重跳びに挑戦する子供が増えました。高得点を狙って難しい技に挑戦した子供もいれば、リスクが少ない方がよいと判断し、安定して跳べる技にした子供もいました。



今年の優勝は、青 1 班、得点は 1906 点でした。班長は、「一人一人が頑張ってくれたおかげです」と話していました。この班では、途中で跳び縄の持ち手が外れてしまうというアクシデントがありました。それでも最後まであきらめずに跳び続けたことやみんなですっかりと応援したことが、今回の優勝につながったのでしょうか。優勝できなかった班も、班長を中心に協力して競技していました。

### 校舎内を自分だけの花でかざろう!!

2月10日（金）～20日（月）

寒い冬の校舎内を、自分で考えた花で飾り、明るい気持ちで過ごしてもらおうと、美化委員会が企画してくれました。昼休みやカリヨンタイムを利用して、一人一人が自分だけの花を描きました。それらを美化委員が階段の手すりの支柱部分に掲示しました。どの作品も個性あふれる花ばかりで、階段がとても華やかになりました。



裏面もあります



## 来年度入学生の体験入学

2月14日（火）

来年度入学予定の6名の年長児を招待して、1年生と一緒に楽しい集会をしました。集会のプログラムづくりや進行、会場設営等、1年生のアイデアを生かして準備しました。迎える1年生は、集会が始まる前「私は、4人の子を知ってるよ」「〇〇ちゃんの妹や弟もいるよね」などと話し、わくわくしていたようでした。

はじめに、1年生と年長児がペアになって自己紹介をしました。年長児は緊張のためか小さな声ではありましたが、上手に名前や好きなものを話すことができました。次に、すごろく、輪投げ、ボウリング、くじ引きの4つのコーナーで遊びました。各コーナーでは、1年生からの素敵なプレゼントが用意されています。年長児は、時間いっぱい何度もチャレンジし遊びを楽しんでいました。お世話をしている1年生も、年長児に優しく声をかける姿が見られ、自分よりも小さな子への思いやりの心が育っていることが感じられました。また、年長児のみなさんも今回の1年生との交流を通して、入学への期待を高め、安心して入学してくれることを願っています。



## 図書室に新しい本がぞくぞく登場！！

後援会費から、児童用図書を新たに33冊購入させていただきました。毎年、町費で新しい本を購入していますが、予算の都合上、シリーズ本を一度に全冊購入することはできません。今回、子供たちに人気のシリーズの続編を揃えることができました。また、生き物の飼い方や物の名前等、知的好奇心をくすぐられる内容の本もたくさん入りました。

図書室では、新着図書コーナーに並べて子供たちがすぐに手に取って読めるようにしています。もうすでに多くの子供たちが新しい本を借りているようです。6年生の中には、「卒業までに新しい本を全部読み切りたい」と、読書に励んでいる子供もいます。読書への意欲が高まり、大変うれしく思います。地域の皆様、どうもありがとうございました。



### 新着図書：「モノのなまえ事典」ポプラ社 より引用

『人間は歳を取ると時間の経過を早く感じるようになる。この、年齢とともに時間の経過を早く感じる現象には、「**ジャンネーの法則**」という名前がある。この現象を研究した、19世紀のフランスの哲学者、ポール・ジャンネさんにちなんで名づけられた。幼いときは見るものや聞くものがめずらしいので時間を長く感じる。しかし、成長して物事を当たり前だと感じるものがふえると、時間があっという間にすぎるといふ。ジャンネの研究によると5歳の1日は、50歳の10日分の密度なんだって。毎日発見があると、一日が長くなるんだね。』

※「へえ、なるほど」と思うことが書かれていて、大人が読んでも楽しめる本です。

学校だよりはホームページでも見ることができます。配布文書—学校だよりをクリックしてください。

